

八幡平と仕事でつながる ただいまワークin八幡平

昨年行った「さすらい合宿」のOB・OGと地元事業者との仕事のマッチングを行う「ただいまワークin八幡平」は10月16から20日までの5日間、さすらい合宿に合わせて行われました。

八幡平の思い出を増やすことと仕事のつながりを持つことを目的に、合宿のOB・OG4人と地域おこし協力隊3人で「ルーツさすらい八幡平」を結成し、初めて企画。18日は、地元のペンションやIT関連企業などを訪問し、事業者と市内での新たな仕事の可能性について話し合ったほか、期間中は、合宿参加者と交流を深めたり、市内観光を楽しんだりしました。

メンバーは、それぞれの事業者と現在の事業課題や今後の展望について話し合い、改善するためのアイデアなどを提案。パンフレットのデザイン作成の受注にもつながり、事業者と仕事を通して関係を築きました。



懇談を深めるメンバーと事業者



懇談を終えて事業者と一緒に記念撮影

【制作したカレンダー】

チーム	季節
藤岡・菅原ペア	秋、冬
中村・山下ペア	夏、冬
杉浦・星島ペア	春、秋
倉持・新田ペア	春、夏

審査を経て完成したカレンダー
審査の結果、下の春、夏、秋、冬の4作品が、八幡平市オリジナルカレンダーとして決定しました。今後、修正作業を経て300部を印刷。移住定住相談会や物産フェアで配布し、市のPRに活用されます。



夏 中村・山下ペア



春 杉浦・星島ペア



冬 中村・山下ペア



秋 杉浦・星島ペア



1_ 森の大橋を訪れ、滝と紅葉の絶景を堪能 2_ チームで何度も話し合い制作イメージを膨らませました 3_ 県民の森で「ハ」のポーズを作り記念撮影 4_ 制作したカレンダーの魅力を審査員に説明 5_ 最高点の評価を受け、握手して喜びを分かち合う

外から目線で八幡平の魅力を発信

八幡平さすらい合宿

ランサーズ(株)協力のもと、市が企画した2泊3日の「八幡平さすらい合宿」に、県外に居住するフリーランスのライターとデザイナーが参加しました。市からの「お題」である八幡平の魅力を伝えるカレンダー制作に、精一杯取り組む参加者の姿を取材しました。

充実した2泊3日のさすらい合宿

市の関係人口拡大事業「八幡平さすらい合宿」は10月16から18日までの3日間、友好都市交流促進センターを拠点に行われました。

本市に滞在してもらい、外から目線で八幡平の魅力を情報発信し、移住検討者の移動を促進することを目的に、今年で3回目の実施。県外から8人が参加しました。

今回、制作するものは四季ごとの八幡平市をPRするカレンダー。ライターとデザイナーがくじを引いてペアを組み、季節が異なる2つのカレンダーを制作しました。

初日、参加者は焼走り熔岩流や安比高原などを訪れ、市の魅力を体感。夕食時には合宿のOB・OGも集まった交流会が開かれ、親睦を深めました。翌日は、丸1日かけてカレンダーを制作。作業は深夜にまで及びました。最終日の審査では、カレンダーのデザインや配置した文章に込めた思いをチームごとに発表。魅力あふれるカレンダーをアピールし、審査員を引き付けました。

合宿終了後、参加者は笑顔で互いの健闘をたたえ合い、八幡平との縁で新たにできた参加者同士のつながりを深めていました。

Interview

雄大な自然だったり、景色だったり。とにかく八幡平ってすごい！だから来て！体験してほしい。

デザイナー
菅原 愛美さん
＝北海道＝

空気がおいしい。雄大な自然。とにかくすごい！言葉で表現したいけどうまくできないもどかしさを作品に込めました。

ライター
藤岡 優希さん
＝大阪府＝

八幡平市の見どころを伝える文章を配置。3カ月間見続けていただくことで、じわじわと八幡平市を感じてもらえたらいいな。

ライター
山下 千香子さん
＝神奈川県＝

八幡平市って写真だけでは伝えることが難しく、白の線画でイラストを描きました。訪れた人や住む人たちの暮らしを感じてもらえたらうれしいです。

デザイナー
中村 麻奈美さん
＝東京都＝

八幡平市の住人の物語を文章で配置。暮らす人との触れ合いや温もりをカレンダーを通して感じてほしいと思い制作しました。

ライター
杉浦 直樹さん
＝東京都＝

八幡平市で開催される年間の主なイベントや気温を載せて、興味を持ってもらえるように工夫しました。

デザイナー
星島 健一さん
＝東京都＝

八幡平市に2万円で住める物件があるのを発見！移住希望者向けにその物件の見取り図を載せました。

デザイナー
倉持 美紀さん
＝東京都＝

八幡平市は自然の魅力あふれるまち。移住先を探している皆さんに興味を持ってもらえたらうれしいです。

ライター
新田 大士さん
＝広島県＝